



PROPERTIES

ボランティア パスポート

学 科 名

.....

学籍番号

.....

氏 名

.....



山梨学院短期大学
YAMANASHI GAKUEN JUNIOR COLLEGE





PROPERTIES

はじめに

「山梨学院短期大学ボランティア・パスポート」は、みなさんが取り組むボランティア活動についての記録です。本学では、「真に社会に貢献しうる力」を身に付けることができるよう、ボランティア活動を推奨しています。短期大学の2年間、学生のみなさんがボランティア活動に励み、このパスポートが実り豊かなものとなるよう願っています。

ボランティア活動とは

ボランティアは、自ら進んで社会活動などに無償で参加することをいいます。ボランティア活動への参加を通して社会に貢献するとともに、マナーやコミュニケーションなど社会人として必要な力を身に付け、豊かな人間性を培うことができます。

ボランティア活動の内容

本学では、ボランティア活動を、その内容に応じて「地域ボランティア」と「食育推進ボランティア」に分類しています。

「地域ボランティア」とは、次のような活動です。

- (ア) 児童・青少年への支援活動
- (イ) 高齢者・障がい者への支援活動
- (ウ) 地域の自治組織等が企画・運営する行事への支援活動
- (エ) NPO団体等が企画・運営する環境整備活動
- (オ) 災害等の被災者への支援活動
- (カ) 国際交流に係る支援活動
- (キ) その他



「食育推進ボランティア」とは、次のような活動です。

- (ア) レシピ作成
- (イ) 料理教室の企画・運営
- (ウ) 保育所・幼稚園等での食育活動
- (エ) その他食育推進に係る活動

食育推進ボランティアを行うには、本学の卒業要件科目「社会人基礎力育成講座Ⅱ」において、食育推進ボランティア研修を受講し、食育推進ボランティアとして登録する必要があります。

ボランティア活動の時間

自分で時間を見つけて、積極的に取り組んでください。

1年生

12月までに、2か所以上の場所で、合計8時間以上のボランティア活動に取り組んでください。

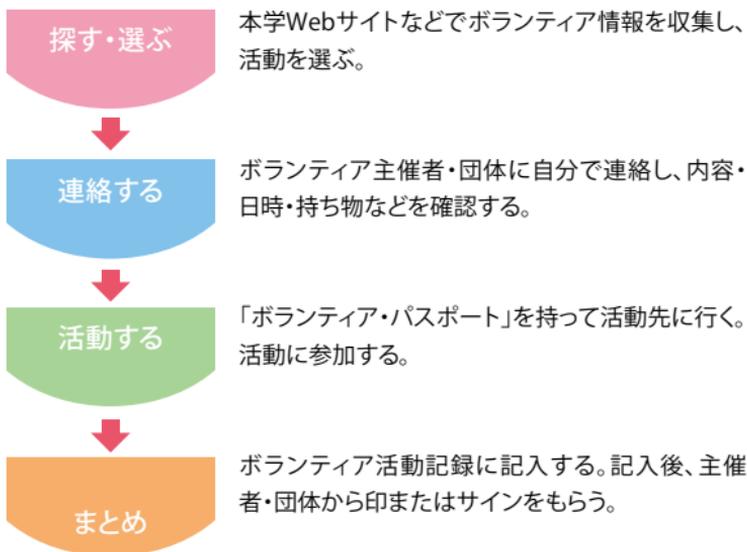
2年生

12月までに、2か所以上の場所で、合計8時間以上のボランティア活動に取り組んでください。そのうち1か所は食育推進ボランティア活動としてください。

ボランティア活動は大切な学びの機会です。本学の卒業要件科目「社会人基礎力育成講座Ⅰ」「社会人基礎力育成講座Ⅱ」で、詳しい説明があります。

活動の進め方

次をよく読んで活動に取り組みましょう。



※注意事項

体調不良や事故などにより、急遽参加ができない場合、主催者・団体に必ず連絡する。

活動中に発生した事故については、本学で加入している保険を適用する。



ボランティア活動に係る保険について

ボランティア活動に係って発生した事故については、本学で加入している「学生教育研究災害保険」「学研災付帯賠償責任保険」が適応されます。内容については次のとおりです。

「学生教育研究災害傷害保険」「学研災付帯賠償責任保険」について

正課中や学校行事中に発生した傷害事故を補償するために、全学生を対象に「学生教育研究災害傷害保険」および「学研災付帯賠償責任保険」に加入しています。

概要は次のとおりです。

■学生教育研究災害傷害保険

[補償の対象となる傷害事故]

- ・正課中(正課を受けている間)
- ・学校行事中(学校行事に参加している間)
- ・キャンパス内にいる間
- ・課外活動中(クラブ活動中)

※ボランティア活動は、原則、本学の卒業要件科目「社会人基礎力育成講座Ⅰ」、「社会人基礎力育成講座Ⅱ」の中に位置づいているため、「正課中」とみなされます。

[保険が支払われない場合]

- ・故意、疾病、自然災害、無資格・酒酔運転。
- ・山岳登山、スカイダイビング等の危険度の高い課外活動。
- ・規定の治療日数に満たない場合。

■学研災付帯賠償責任保険「インターンシップ・教職資格活動等賠償責任保険」

保育所実習・教育実習等の学外実習、ボランティア活動において、他人にケガを負わせてしまったり(対人賠償)、他人の財物を損壊してしまったりしたこと(対物賠償)により被る、損害賠償について補償する。

PROPERTIESの取組について

「ボランティア・パスポート」は、本学が採択された平成28年度大学教育再生加速プログラム(AP)「高大接続推進事業」(テーマV 卒業時における質保証の取組の強化)における取組「PROPERTIES」に位置づくものです。

この取組では、本学の各科12におよぶディプロマ・ポリシー(学修成果)を3つの要素「専門的知識 Professional Knowledge」「専門的実践力 Professional Performance」「総合的人間力 Total Abilities」でとらえ、「学修成果を学内・学外の両輪で評価する仕組み」「学修成果を社会に目に見える形で提示していく仕組み」を開発・整備し、これらを活かして、「学生の主体的な学びの促進や学修時間の増加等、教育活動の改善」を図ります。短期大学での学びが卒業生の「財産」となることを願って、この取組をPROPERTIESと呼んでいます。

ボランティア・パスポートは、学生の「総合的人間力 Total Abilities」の外部評価指標となります。

山梨県社会福祉協議会との連携について

山梨学院短期大学は社会福祉法人山梨県社会福祉協議会と包括的連携に関する協定を結んでいます。この連携は地域の課題解決、豊かな地域社会の創造・発展に寄与することを目的としています。目的を達成するために(1)子育て支援等に関すること、(2)食育の推進に関すること、(3)まちづくり等の地域振興に関すること、(4)NPO等の地域活動に関すること、について相互に連携し協力しています。この協定のもと、山梨県ボランティア・NPOセンターと山梨学院短期大学との間で、「ボランティア活動推進事業」に取り組んでいます。

ボランティア活動記録

活動記録

主催者・ 団体名	
活動場所	
日 時	年 月 日
活動時間	時間 分
活動内容	

主催者・団体：印・サイン	
--------------	--

(団体代表者または活動で担当者の印またはサインをお願いします)

自己評価

■番号を○で囲んでください

4. とてもそう思う 3. ややそう思う 2. ややそう思わない 1. そう思わない

Q 社会におけるマナーを守れましたか。
(挨拶や言葉遣い、身だしなみ、時間など)

4 3 2 1

Q 関係する方々とのコミュニケーション
を大切にできましたか。

4 3 2 1

Q 誠実かつ積極的に取り組みましたか。

4 3 2 1

この活動を通して学んだこと

— MEMO —





平成28年度文部科学省

「大学教育再生加速プログラム」採択事業

PROPERTIES

「専門的知識 Professional Knowledge」

「専門の実践力 Professional Performance」

「総合的人間力 Total Abilities」



山梨学院短期大学

YAMANASHI GAKUIN JUNIOR COLLEGE

〒400-8575 甲府市酒折2-4-5 TEL 055-224-1400(代)

PROPERTIES <http://www.ygjc.ac.jp/properties/>